

多様な通いの場の紹介

～「住民主体の通いの場」から生まれた多様な活動～

通いの場からどんどん広がる笑顔の取組を紹介します

現在各市町では、住民の皆さんがあ自ら主導的に集まって、いきいき百歳体操やシルバーリハビリ体操、ご当地体操などを行う「住民主体の通いの場」があります。

今では体操をするだけではなく、他の様々な活動に取り組んでいる通いの場が増えています。



<住民主体の通いの場とは(厚生労働省HPより)>

地域の住民同士が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」「仲間づくり」の輪を広げる場所です。地域の介護予防の拠点となる場所でもあります。



いろいろな取組を知っていただくことで、
皆さんにとってより充実した「通いの場」に
なるよう応援しています!

広島県地域包括ケア推進センター

スタッフ **包括 進**(ほうかつ すすむ)

こちらのHPから動画を
ご視聴いただけます。



広島県内の多様な通いの場の取組

通いの場が高齢者と子育て世代の憩いの場のひとつに

江田島市
くじら堂



子育て世代も一緒に参加できる通いの場が創り出された事例

古民家カフェを活用した地域サロンが開かれ、高齢者と地域の子育て世代が一緒に集まれる通いの場が開催されています。体操の後に行う子どもたちの誕生日や季節のイベントなどを通じて一緒に場と時間を共有しています。

笑顔があふれるこの多世代交流の場は、子育てや見守り合いができる地域のかけがえのない場となっています。

通いの場での趣味グループが地域活動へと広がる

広島市南区
和気あいあい



通いの場から生まれた趣味活動が地域の施設での演奏会につながった事例

広島市の中心部で行われている通いの場では、毎回世話人が体操以外にも、様々な工夫を凝らした活動を行っています。

活動を続ける中で、ハーモニカを趣味としたグループが生まれ、今では地域の高齢者施設で演奏会の機会が持てるようになりました。日頃の練習を披露する場があることで、目標を持って取り組める活動につながっています。

障害があっても支え合ってみんなが集える通いの場に

吳市
のびのび
体操教室



様々な障害があっても地域で体操ができる場が創り出された事例

吳市の街中で行われている通いの場では、様々な障害を持った方を対象にした体操教室を開催しています。

吳市身体障害者福祉協会の声かけをきっかけに、吳市社会福祉協議会、吳市中央地域包括支援センターなどの関係機関が協力して実現しています。障害があっても集まり、参加したいと思う誰もが参加できる通いの場になっています。

買い物支援の場も兼ねる通いの場

神石高原町
古川自治振興会



山あいの集会所で開催されている通いの場を共同購入の場にも活用した事例

山あいにある集落で今後買い物ができなくなっていく不安があったこの地域で、協働支援センターと通いの場の世話人、共同購入事業者の三者が連携することで、通いの場を共同購入の場として活用することが実現しました。体操の後に共同購入の商品が届き、「集まりの場の創出」「買い物支援」「見守り」が一体的に行われています。

通いの場が医療とつながり健康支援の場に

三次市
内町健康サロン



通いの場を「くう てる うごく」でフレイル予防から包括的取組の場として活用した事例

神社の境内にある集会所では、週1回の健康サロンが開催されています。この日は管理栄養士や理学療法士などの専門職が訪問し、主に栄養についての出前講座が行われました。地域リハビリテーション広域支援センターでもあり、地域心臓いきいきセンターもある三次地区医療センターが中心となって、周辺地域の通いの場を対象に、健康について学ぶ場を提供しています。

介護予防は体操だけでなく、社会参加が大切です！

皆さんもいつまでも「したいこと」を「なじみ」の環境で続けられるように、地域とつながってみませんか？

令和6年3月制作

